

令和5年度 第3回 中国四国防衛局入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	令和5年12月11日(月) 広島合同庁舎第4号館5階 中国四国防衛局会議室
委員	田邊 尚 (弁護士) 谷村 吉弘 (客員研究員) 上寺 哲也 (高等専門学校准教授) 川本 泰清 (税理士)

II 契約実施機関が締結する契約(地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
審議対象件数	中国四国防衛局 240件

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経等について)

抽出件数	5件	(審議概要) 入札の状況について
一般競争	3件	
公募型指名競争	0件	
企画競争	0件	
随意契約	2件	

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>○一般競争(複数者応札)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩国飛行場(4)住宅防音事業事務手続補助等業務(その1) ・岩国飛行場(4)住宅防音事業事務手続補助等業務(その2) ・岩国飛行場(4)住宅防音事業事務手続補助等業務(その3) ・岩国飛行場(4)住宅防音事業事務手続補助等業務(その4) <p>これらは落札率が極端に低く、最高でも33.47%である。低い落札率になった理由を分かる範囲でご説明ください。また、同様の業務内容を同じ契約者が落札している現状から、分割発注を行う必要性が感じられないが、分割発注を行なった理由をご説明ください。</p>	<p>当業務の積算については、「住宅防音事業に係る事務手続補助等委託業務実施要項の制定について(通知)」の積算指針に基づき、主に標準資料を活用して積算を行っているが、低い落札率は地域の実情を反映したものである。</p> <p>また、直近5ヶ年の落札率(平均)が年々下降していることから、請負業者の企業努力による部分も大きいものと思われる。</p> <p>分割発注については、同通知文書に、一入札当たりの業務の対象となる世帯数は、100程度(交付決定世帯数)となることを基本と明記されている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・令和4年度中国四国防衛局定期健康診断</p> <p>・駐留軍等労働者に対する定期健康診断等の役務（岩国地区）</p> <p>・駐留軍等労働者（船員を除く）の定期健康診断等の業務委託（広島地区）</p> <p>これらは同様の業務内容を同じ契約者が落札しているにもかかわらず、落札率の差が大きい（50%程度）。</p> <p>なぜこのような落札率となったのか、分かる範囲でご説明ください。</p> <p>○一般競争（1者応札）</p> <p>・令和4年度中国四国防衛局トナーカートリッジ購入</p> <p>一般的な購入物品であり、単価の割に契約金額が大きいにも関わらず、1者応札で落札率が91.65%と高い印象がある。見積もり社数や見込み金額をどのように算出されたか、また、他の応札者が現れなかった理由を分かる範囲でご説明ください。</p>	<p>そのため、工種別（本体工事、空調復旧工事及び建具復旧工事）に100世帯程度を目安として発注を行っている。</p> <p>抽出された3件は、中国四国防衛局職員に対して行う定期健康診断と米軍施設（岩国地区及び広島地区）で働く基地従業員に対して行う定期健康診断等を業務委託している単価契約である。</p> <p>岩国地区と広島地区で同じ検診項目である定期健康診断を抽出、比較したところ、岩国地区の契約単価が参考見積より相当安く設定されている。これは、岩国地区は広島地区と比較して受検者が相当数あり、スケールメリットのためと推察する。</p> <p>なお、広島地区は受検場所が呉市、東広島市及び江田島市と点在しており、岩国地区ほどのスケールメリットが得られないものとして、そこまで単価にできなかったものと推察する。</p> <p>見積者数については、3者から参考見積書を徴取しており、見込み金額については、過去3年間における購入実績の平均値をもって令和4年度の購入予定数量とした。当該数量にかかる市場価格調査（参考見積書の徴取）を実施の上、算出を行っている。</p> <p>他の応札者が現れなかった理由に</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>○随意競争</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度中国四国防衛局電力供給契約（岩国防衛事務所） ・令和4年度中国四国防衛局電力供給契約（玉野防衛事務所） ・令和4年度中国四国防衛局電力供給契約（津山防衛事務所） <p>様々な官公庁や学校などでも低圧電力を入札により契約しており、中国四国防衛局においても入札により契約すべきであると考えます。随意契約とされた経緯をご説明いただき、今後の契約についてもご説明をお願いします。</p> <p>・令和4年度電子複写等業務</p> <p>契約金額に対し実際の使用料が約2割とかなり低いため、予想された業務よりもかなり少ない業務量であったことが推察される。業務量の推定方法をご説明ください。</p>	<p>については、購入物品のメーカーにより、得手不得手となる業者が存在するためと推察する。</p> <p>各防衛事務所における調達予定金額が、随意契約によることができる金額の範囲内であったため、オープンカウンター方式（公募型）による見積合わせを実施したが、見積り参加者が現れず、不成立となった。そのため、前年度に引き続き中国電力株式会社と随意契約を行ったものである。</p> <p>本契約は、電子複写等の外注を行うものであり単価契約である。</p> <p>業務量の推定方法については、過去3年間における発注実績の平均値を令和4年度の発注予定数量としたが、結果的に発注が少なかったものである。</p>

2. 談合疑義案件の処理状況について		
談 合 疑 義 案 件	0 件	(審議概要) なし
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	なし	なし
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	
3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について		
審 議 概 要	順位傾向の分析、落札率・応札率の分析等を行った資料を委員に配布	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	なし	なし
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	
4. 再苦情処理（再説明請求回答）		
該当事案なし		